第3回生涯学習リーダー、ジュニアリーダー養成研修会 パネルディスカッション テーマ『地域ぐるみの家庭教育支援』

1. 趣旨

活力ある地域づくりを目指し、主体的に取り組む生涯学習リーダーやジュニアリーダーを養成するため、子どもたちの体験活動、家庭教育、学校等の支援のあり方の学習や地域教育資源の調査などの実践活動を行う。

2. 主催

鹿児島県教育委員会

3. 後援

鹿児島県子ども会育成連絡協議会 鹿児島県青少年団協議会 鹿児島県 PTA 連合会 鹿児島県地域女性団体連絡協議会 鹿児島県老人クラブ連合会

4. 開催期日, 場所, 対象者

開催期日	平成 26 年 1 月 18 日
場所	かごしま県民交流センター
対象者	地域の社会教育指導者、各社会教育関係団体(子ども会員・リーダー、ジュニ
	アリーダー、シニアリーダー等、高校生クラブ、子ども会指導者、青年団、
	PTA, 女性団体, 高齢者団体のリーダー等)
定員	200人
	養成研修会受講者 (120 人), 社会教育関係団体の会員, 社会教育や地域づく
	りに関心がある方,行政関係者(100人)

5. 日程

研修時間	内容
12:30~	受付
13:00~13:05	開講式
13:05~14:05	○ 地域実践活動発表(一人 15 分程度)
	・ ジュニアリーダー
	・ 子ども会指導者
	• 高齢者団体指導者
14:15~16:10	〇 パネルディスカッション
	「地域ぐるみの家庭支援」
	コーディネーター
	郡山裕子 (南九州市立頴娃小学校校長)
	提言者 (パネリスト)
	・若松友子 (いちき串木野市教育委員会社会教育課主幹兼社会教育係長)
	村山明美 (鹿屋市教育委員会生涯学習課花岡地区公民館長)
	・加藤誠章 (鹿児島市立谷山小学校 PTA 会長)
	・坂元聖子 (鹿児島県立私立幼稚園 PTA 連合会長)
	・齋藤 瞳 (鹿児島純心女子大学3年)
16:10~16:15	閉校式

【パネルディスカッションに参加して】

ことばと文化学科 3年 齋藤 瞳

「これから親になる世代」の代表として、私は本学の地域教育活動の状況、すなわち水引キッズ応援隊の活動や純心女子大学の学生がその企画立案に携わっていることを紹介した。水引キッズ応援隊の活動は子どもたちが社会性を身につける場としてだけでなく、親同士のコミュニケーションの場としても大きな役割を果たしているとも述べた。私たち学生は水引キッズ応援隊の活動に参加することで子どもたちとの関わり方や親同士が協力して地域で子どもたちを育てていくことの大切さを学ぶことができたように思う。パネルディスカッションでは私たちが活動を通して学んだことや、その経験を生かしてこれからも地域と関わっていきたいという思いを参加者の方々に伝えるよい機会となった。発表後、参加者の皆さんから「大学生がそのような活動を行っていることを初めて知った」「参考になった」などの言葉をいただき、大変嬉しく思った。また、他のパネリストの発表や参加者の方々の話を聞き、行政や PTA など様々な団体が地域ぐるみの子育て支援にあたっていることを知ることができた。パネルディスカッションに参加して改めて、子育ては家庭だけでなく地域全体で協力し合いながら行うことが大切であると感じた。

[パネルディスカッションの様子]





